



【AM-06】

\*\* 2024年 4月 (第6版)  
\* 2016年 3月 (第5版)

医療機器届出番号: 27B1X00116000110

機械器具 58 整形用機械器具  
一般医療機器 骨手術用器械 (JMDNコード: 70962001)

## アキュメッドネイル用手術器械

### \* 【禁忌・禁止】

〈併用医療機器〉

アキュメッド ネイル (医療機器承認番号: 21200BZG00038000)、アキュメッド ボーンスクリュー (医療機器承認番号: 21200BZG00026000) およびアキュメッド ネイル UE (医療機器承認番号: 22700BZI00044000) による骨接合手術以外に使用しないこと。[「相互作用」の項参照。]

### 【形状・構造及び原理等】

\* 〈形状〉

本品はアキュメッド ネイル (医療機器承認番号: 21200BZG00038000)、アキュメッド ボーンスクリュー (医療機器承認番号: 21200BZG00026000) およびアキュメッド ネイル UE (医療機器承認番号: 22700BZI00044000) の手動式手術器具類である。尚、本手術器具類の代表的な製品は以下の通りである。

製品名
ラージコーテックスオウル
11.0mm キャニュレイティッドパッドドリル
ブローチ
ターゲティングガイド ベースプレート
ボラスラテラルターゲティングガイド
ボラスプラスラテラルターゲティングガイド
A/P ターゲティングガイド
5.0mm ドリルガイド/デブスゲージ
3.5mm ドリルガイド/デブスゲージ
5.0mm & 3.5mm タップドリル
ショートディスタルドリル
ウイトネスホールドリル
3.5mm コーティカルスクリュータップ
3.5mm 六角ドライパー
2.5mm 六角ドライパー
フリーハンド ターゲティングガイド
ボラスプラス ディスタルターゲティングガイド
7.3mm Tハンドルリーマー
8.3mm Tハンドルリーマー
ボラス2 ラテラルターゲティングガイド
ボラス2 A/P スクリューホール付 ラテラルターゲティングガイド
ボラス2 A/P ターゲティングガイド
ボラス2 オウル
10.0mm キャニュレイティッドパッドドリル
T15 Stick Fit Hexalobe Driver
ボラス 3 Cannulated Awl
ボラス 3 Cannulated Broach
ボラス 3 2.8mm Surgibit Drill (Short, Long)
ボラス 3 2.8mm Blunt Drill (Short, Long)
ボラス 3 Long T15 Hexalobe Driver
ボラス 3 Targeting Awl
ボラス 3 Drill Guide, Nail
ボラス 3 4.3mm Screw Tap

ボラス 3 Proximal Targeting Guide
ボラス 3 Cap Screw Driver
Flexible Reamer (8 mm, 9 mm)
Blunt Hohmann Retractor, Carbon Fiber
Browne-type Retractor, Carbon Fiber

\* 〈組成〉

ステンレス鋼 (ニッケル、クロムを含む)、炭素繊維

〈作動・動作原理〉

髓腔内へ挿入した髓内釘と数本の横止めスクリューとの組み合わせで骨片を固定する際に用いる専用の手術器械である。

\* 【使用目的又は効果】

〈使用目的〉

本品はアキュメッド ネイル (医療機器承認番号: 21200BZG00038000)、アキュメッド ボーンスクリュー (医療機器承認番号: 21200BZG00026000) およびアキュメッド ネイル UE (医療機器承認番号: 22700BZI00044000) 用の手動式手術器械類である。

【使用方法等】

〈使用方法〉

1. 使用前の注意事項

摩耗や損傷、曲がりなどの変形がないことを確認すること。また、手術前に予め、次に示す滅菌条件を参考に滅菌バリデーション等を行い、無菌性保証が確保された条件で滅菌処理を施すこと。(滅菌方法については、滅菌装置の添付文書 [取扱説明書] を必ず参照すること。)

(滅菌方法及び滅菌条件)

高圧蒸気滅菌	温度	時間
重力置換	132℃	60分
プレバキューム	132℃	25分

\* 2. 使用方法 (使用例)

※詳細な使用法は、インプラントの手技書を参照すること。

- (1) 骨折部を整復してガイドワイヤーを髓腔へ挿入する。
- (2) ガイドワイヤーを介して髓内釘を髓腔へ挿入する。
- (3) 髓内釘近位部 (近位骨片) にスクリューを挿入して近位骨片を固定する。
- (4) 髓内釘遠位部 (遠位骨片) にスクリューを挿入して遠位骨片を固定する。
- (5) 髓内釘近位端部へキャップスクリューを挿入する。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. オウル、ドリル、スクリュータップ等の刃物類は先端が鋭利であるので取り扱いに注意すること。
2. 使用前に外観確認を行い、摩耗や損傷、曲がりなどの変形がないことを確認すること。
3. 手術器具を使用の際は、必要以上の負荷を加えないこと。[手術器具が破損するおそれがある。]
4. ドリルを使用する際は、必ず専用のドリルガイドと組み合わせ使用すること。[専用のドリルガイドを用いずにドリリングの操作を行った場合、神経などの軟部組織を損傷するおそれがある。]

手術手技書を必ず参照すること

5. 骨が硬く肥厚していてドリルの穿孔に時間を要するような場合は、無理に穿孔を継続せず、適宜ドリルを抜いてドリルに付着した骨屑を除去したり、穿孔部やドリルに注水して冷やしたりする等、慎重に穿孔を行うこと。[無理な穿孔を続けると、穿孔部で発熱し、骨や周囲組織に熱による障害が発生するおそれがある。]
6. スクリュー挿入前は、専用のターゲティングガイド、ドリルガイドとドリルチップを使用してプレドリリングを実施すること。[専用のガイドとドリルチップを使用しない場合、スクリューの破損、変形もしくはインプラントのスクリューホールと骨孔にズレが生じるおそれがある。]

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

- (1) 本品を使用する患者に対し、考えられる不具合の可能性について書面で十分に説明を行うこと。
- (2) 刃先の摩擦やキズ等が激しい刃物類（オウル、ドリル、スクリータップ等）は使用しないこと。
- (3) 先端の変形や摩擦が激しい回転工具（ドライバー）は使用しないこと。
- (4) 使用後は、隙間部分・内管及び中空部分や複雑な構造を有する部分に血塊等が残らないように速やかに洗浄後、滅菌すること。【【保守・点検に係る事項】の頁参照】[嵌合部等にある血塊や異物を除去しきれないおそれがある。]

### 2. 相互作用

#### \* (1) 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
アキュメッド ネイル（医療機器承認番号：21200BZG00038000）、アキュメッド ボーンスクリー（医療機器承認番号：21200BZG00026000）およびアキュメッド ネイル UE（医療機器承認番号：22700BZ100044000）以外の他社製のインプラント製品	インプラントの緩みや破損につながるおそれがある。	インプラントが適切に埋入できないため、固定力等が不足する。

#### 3. 不具合・有害事象

本品の使用において、患者の状態、骨折部の形態および骨癒合の状態などにより、次のような不具合・有害事象がまれに現れることがあるので、異常が認められた場合は直ちに適切な処置を施すこと。

- (1) 重大な不具合
  - 本品の破損
- (2) 重大な有害事象
  1. 手術侵襲に起因する神経および軟部組織の損傷
  2. 骨壊死
  3. 偽関節・遷延治癒・骨癒合不全
  4. アレルギー反応
  5. 血行再生障害
  6. 適用部位の骨や周囲組織の穿孔時の熱による障害
  7. 再骨折
- (3) その他の有害事象
  1. 骨短縮
  2. 骨密度低下
  3. 痛み・不快・違和感
  4. 破損片の体内遺残
4. 高齢者への適用
 

一般的に高齢者は骨量・骨質が十分でないことが多いので、本品の使用は慎重に行い、術後の経過にも十分注意すること。

## 【保管方法及び有効期間等】

1. 保管上の注意
  - 直射日光および高温多湿をさけて保管すること。

## 【保守・点検に係る事項】

### <使用者による保守点検事項>

1. 使用後は、速やかに洗浄を行い、血塊等を除去すること。[血液や分泌物などの乾燥した有機残留物が、本品を腐食させる原因となるおそれがある。]
2. 本品にハロゲンイオン（臭素イオン・ヨウ素イオン・塩化物イオン）を含む生理食塩水や消毒剤が残存することのないように注意すること。[ハロゲンイオン（臭素イオン・ヨウ素イオン・塩化物イオン）、特に塩化物イオンの曝露によって、ステンレス鋼の不動態皮膜に孔食が生じるおそれがある。]
3. 分解可能な器具、或いは組み合わせる器具は、最小単位まで分解して洗浄を行うこと。
4. 可動部を有する器具は可動部分を操作しながら洗浄すること。
5. 洗浄の際、本品の表面等にキズがつかないようにブラシ・スポンジ等を使用し、金属製たわし・クレンザー（磨き粉）等の使用は避けること。
6. 隙間部分や中空穴を有する器具は、ブラシ等で隙間部分や中空穴部分を入念に洗浄して異物を除去し、洗浄後の器具に異物がないことを十分確認すること。ブラシ等で血塊等を除去できない場合は、血液溶解剤又は蛋白分解酵素剤などを用いて洗浄後、超音波洗浄器を用いて洗浄すること。
7. 超音波洗浄器を使用する際は、取扱説明書を参照の上使用すること。また、ドリル等の刃物が接触し、キズ等が発生しないように注意すること。
8. 洗浄剤は、医療用中性洗剤等の専用の洗剤を用いること。[強アルカリ/強酸性洗剤・消毒剤は、器具を腐食させるおそれがあるため、できる限り使用を避けること。]
9. 洗浄剤や消毒剤を使用する際は、製造業者の取扱説明書に従い、希釈濃度、温度、および浸漬時間を遵守すること。
10. 洗浄中又は洗浄後は、水分または洗剤などが付着した状態でむやみに放置しないこと。[本品の腐食の原因になるおそれがある。]
11. 洗浄後は、脱イオン化水を使用して、洗浄剤などを十分にすすいだ後、速やかに乾燥を行うこと。
12. 洗浄後、滅菌する前に、摩耗、割れ、有害なバリ、錆び、接合不良等がないか、外観検査を実施すること。
13. 合成樹脂が使用されている器具に高圧蒸気滅菌を行う場合、合成樹脂部分が滅菌トレイまたは金網容器等の金属部分に直接触れないように注意すること。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

\*\* エム・シー・メディカル株式会社

電話番号：06-6222-6606

製造元

アキュメッド社(アメリカ合衆国)

ACUMED LLC